

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER **Final**



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018~2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



国際ロータリー第2510地区
2018-2019年度地区目標

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ.....	1	●「米山と語ろう」をテーマに第7グループ インターシティミーティング開催	10
●2019年 ハンブルグ国際大会及び北海道ナイトご報告.....	2	●2018-19年度 ガバナー補佐退任ご挨拶.....	11
●第46回ローターアクト地区大会を終えて.....	3	●2018-2019年度 地区委員長退任ご挨拶.....	15
●現役最後の行事「第46回ローターアクト地区大会」.....	4	●新会員のご紹介/ガバナー事務所よりお願い.....	26
●2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区 インターアクト年次大会報告	5	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付.....	27
●「ロータリアン、学友が共にグローバル奨学生の出発を送りました」.....	6	●胆振東部地震義捐金報告.....	28
●RYLAセミナーを終えて.....	7	●5月出席率・会員数.....	29
●現新ガバナー補佐・地区委員会委員長引継ぎ会議報告.....	8	●6月出席率・会員数.....	30
●「地域貢献活動の強化を目指して」第6グループ インターシティミーティングの報告	9		



2018-2019年度 ガバナー月信最終号に寄せて

国際ロータリー第2510地区

2018-2019年度ガバナー **小 山 司**
(札幌RC)

2019年6月30日を以て2018-2019年度ガバナーとしての任務を終了することができました。ガバナーとしての責務、各クラブに対する地区としての使命など、未知の展開に対する期待と不安の中でのスタートでしたが、各クラブへの公式訪問、IMや地区委員会活動への参加を通して、多くの会員と出会い、語らい、共に事業を進める中で、数々の深い感動をいただきました。かつて経験したことのないロータリアンとしての醍醐味、達成感と言えるかと思います。これもひとえに各クラブ会長・幹事をはじめ会員の皆様、地区役員・地区委員会委員の皆様、何かと細やかで温かい激励とアドバイスをいただいたバストガバナーの皆様をはじめ、本当に多くの方々を支えられた感動と感謝の一年でした。心から御礼を申し上げる次第です。

2018-2019年度はバリー・ラシンRI会長のもと「インスピレーションになろう」をテーマに活動を展開してきました。ラシン会長の言葉、『今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです』は、この一年の地区運営を推進する力強いメッセージとなったと言えます。この最終号では、地区委員会活動について各委員長の報告書を掲載させていただきました。ご覧いただけるように、それぞれの委員会において新たな試みも含め活発な事業が展開されています。委員会の皆様の熱心な取り組みに改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて地区目標として、「持続可能な絶え間なき変革のスタート」をテーマとして、第一に組織の活性化を挙げました。元気なクラブの指標は、クラブの増強・拡大にあることは言うまでもありません。幸いにも、年度末で48名の純増となったことを確認しました。決して十分な増加率とは言えませんが、これまでの減少傾向を打破する新たな潮目として評価し、皆様のご努力に感謝し、今後とも一層の増強への取り組みをお願いする次第です。本年度は、第2510地区に15年振りの新クラブ創立があったことは周知の通りです。札幌ライラックロータリークラブの創立により、当地区は再び70クラブから構成されることになりました。さらに歓迎すべきこととして、岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの設立が実現しました。地区のクラブ拡大においても特記すべ

き飛躍の年度となったと言えます。お世話いただいた札幌南ロータリークラブと岩見沢ロータリークラブの会員の皆様の壮挙を大いに讃えたいと思います。

二つ目の地区目標は、ロータリーの認識・理解を深めるべく、会員研修の充実・強化にありました。これまでの地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会の内容の充実に加え、本年度より、長年の懸案であったRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)を正式にスタートすることができました。すでにパートⅠ～Ⅲのセミナーは好評のうちに終了しており、順調なスタートを切ったことに安堵しています。関係各位のご支援、ご指導に感謝申し上げます。会員のリーダーシップの涵養を通して、クラブの内容充実・活性化に必ずや貢献するものと期待されます。

三つ目の目標は、地区社会との関わり合いを深めることにありました。人道的奉仕活動の推進と青少年奉仕活動の支援・強化が主眼でした。本年度の人道奉仕活動では、各クラブが競って補助金を活用した事業を計画され、地域への奉仕を実践していただきました。従来からのポリオ根絶や重点領域における国際奉仕活動などの継続事業においても熱心に取り組んで頂きました。その内容もロータリーにふさわしい素晴らしいものばかりです。私も家内同伴でタイの検証ツアーに参加させていただき、生涯忘れることのできない感動を得ることができました。本年度、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に対して、地区内クラブをはじめ、国内外のロータリアンから多くの義捐金が寄せられました。地区社会奉仕委員会を中心として災害対策委員会が設置され、具体的な支援内容を検討していただき、迅速かつ実効性のある支援活動が実施されました。被災地の住民から大いに感謝されたことは申すまでもありません。関係各位のご尽力に心から感謝します。青少年奉仕活動、特にローターアクトクラブの増強・拡大とRYLAの見直しと活性化については、今なお重要課題として検討が続けられ、次年度に引き継がれることになっています。

この一年間の皆様の友情に感謝するとともに、地区役員、地区委員会委員としてのより積極的なご参加を改めてお願いし、最終号のメッセージとさせていただきます。ありがとうございました。



2019年 ハンブルグ国際大会 及び北海道ナイトご報告

札幌南RCオンツ一委員会

寺江伸一郎

(札幌南RC)

本年の国際大会はドイツ/ハンブルグで6月2日に本会議が行われました。また、同日19時から第2510地区の北海道ナイトが開催されました。初めての参加でしたがご報告させていただきます。

6月1日朝6:30新千歳空港に集合し羽田空港-フランクフルト-ハンブルグへと出発しました。開催地であるハンブルグは北海道の北端である宗谷岬よりも遙か北の北緯53度に位置する、人口175万人の港湾都市であります。「ハンバーグ」の語源となった都市で、タルタルステーキに卵、魚の酢漬けなどを混ぜ合わせて食べる料理がその由来だと道中教えていただきました。

今回のハンブルグ国際大会には世界中から約25,000人もものロータリアンが集まり、そして第2510地区からは小山ガバナーご夫妻をはじめとし6日間のA日程、8日間のB日程等の各行程での参加となりました。上記のように地理的には北海道の遙か北に位置する同市ですが、滞在した6月1日から3日はとても暑く、ハンブルグのこの時期の平均気温よりもはるかに高い25度以上の気温を温度計が指す時間帯もあり、世界中のロータリアンの熱気がハンブルグを熱くさせているのだと感じました。私は初めての国際大会参加になりましたが、大会会場となったハンブルグメッセの他にも市内のあちこちにロータリーの旗が揺れており、(End Polio)の活動案内をしている方や異国のロータリアンと記念撮影をしている方などをたくさんお見掛けしま

した。後述いたします北海道ナイトを行ったグランド・エリゼホテルでは自国の民族衣装を纏い陽気な音楽の流れる中、楽しそうに集うロータリアンたちもいらっしやいました。国や人種、言葉は違えど同じ思いの人が集まるロータリーの国際大会には圧倒されました。

そして同日夜には北海道ナイトが開催されました。各行程の第2510地区の15クラブ45名の皆さまにグランド・エリゼホテルにお集まりいただき札幌南RCの司会進行により武部パストガバナーのご挨拶、小山ガバナーのご挨拶と乾杯で和やかに宴が始まりました。とても美味しいスパークリングワイン、ドイツワインと共にちょっと変わったウズラの卵入りスープや豪快なお肉料理を堪能しつつ参加各クラブからのスピーチと、次年度のハワイ国際大会のご案内をいただきました。その後お楽しみミニ抽選会も行われ、大変盛り上がった北海道ナイトは少し時間が押してしまいましたが、福田ガバナーエレクトから閉会のご挨拶をいただき、その後全員揃っての記念撮影をして楽しく賑やかな会は閉宴となりました。

翌日から本団はオーストリアへ移動しウィーン市内にて、歴史・文化・街並み・食事などたくさんの事を堪能させていただき、その後は各行程に従い北海道への帰路へとつきました。

最後になりますが、ご多忙の中ハンブルグ国際大会で旅路を共にしていただき貴重な経験をさせていただきましたロータリー第2510地区の皆様にご心より感謝申し上げます。2019年ハンブルグ国際大会及び北海道ナイトのご報告とさせていただきます。





第46回ローターアクト 地区大会を終えて

地区ローターアクト委員会

委員長 **川下和光**
(札幌幌南RC)

去る、6月29日赤平市(交流センターみらい)にて赤平RACホストにて開催されました。地区内数多くのロータリアンや友好地区のアクターなど沢山のご登壇をいただき、そして当日には小山司ガバナーをはじめ多数のご参列を賜り感謝申し上げます。

当地区のローターアクト地区大会は、アクト地区行事として一年のなかでとても大きな大会であります。当地区では年度末開催ということもあり年間地区行事の発表や年間表彰(クラブ・個人)、卒業式及び次年度のアクト地区役員発表や次年度地区代表の決意表明が行われます

本年も3名の卒業生がローターアクトを巣立ちました。千歳RAC会長佐々木文也さん、赤平RAC会長(地区幹事)石川樹さん、赤平RAC武田洋平さんの3名です。

佐々木さんは、約3年間と短い期間ではありましたがクラブ及び地区行事に積極的に参加し本年はクラブ会長としてクラブを纏めてくれました。

石川さんは、約8年間にわたりクラブや地区内行事に積極的に参加し地区代表や幾つもの地区役員を歴任されました。そして本年はクラブ会長と地区幹事に就任され見事にやり遂げられました。

武田さんは、10年間にわたりアクターとして活動されました。赤平RACの中では、クラブのムードメーカーとして活動しクラブの士気を上げていた姿を後輩達は忘れないでしょう。

このように本年度も当地区にとって有望なアクター3名が卒業したのは大変な痛手ではありますが、次年度に発足致しますローターアクト学友として後輩の育成にあたって

いただき、第33回全国ローターアクト研修会に向けて地区内アクターの底上げをはかりたいと思います。

そして、閉会式の中で行われた次年度地区役員紹介、次年度地区代表決意表明では、地区代表ノミニの上浦由莉子さんが(札幌幌南RAC)次年度に向けて立派な決意を表明してくれました。次年度は上浦代表を地区として盛り上げていき第33回全国ローターアクト研修会に向けた活動を活発化していきたいと思います。

最後に私にとって次年度は、委員長として最終年度の3年目になります。最後の年だからという訳ではございませんが、私もローターアクトのOBとしてアクターの皆さんにアクトの本当の楽しみ、本当のアクトの意義をしっかりと理解して貰えるようアクトに接していき、そして地区内のロータリアン全てにアクトの素晴らしさを理解いただけるように活動してまいります。

ホストをして頂いた赤平RACの皆さんお疲れ様でした。とても素晴らしい地区大会でした。提唱クラブであります赤平RC宇戸会長をはじめ会員の皆様、いつも地区運営にご理解ご協力賜り感謝申し上げます。今後とも地区運営にご理解ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。





現役最後の行事 「第46回ローターアクト地区大会」

ローターアクト地区幹事

赤平ローターアクトクラブ会長 **石川 樹**
(赤平RAC)

去る6月29日(土)赤平市において、赤平ローターアクトクラブがホストのもと「第46回ローターアクト地区大会」が開催され、ご登録は約150名、当日は約80名のご参加をいただきました。

ローターアクト地区大会は、1年間の中でも最も大きな行事とされ、当地区では当該年度の総決算や次年度への決意表明という目的から毎年度末に開催されており、地区年間活動報告、1年間努力したクラブや会員を表彰する表彰式、当該年度末で卒業する会員を祝う卒業式、そして次年度地区ローターアクト代表や地区役員の紹介および決意表明を行います。

私自身、2018～2019年度末で年齢到達により、2011年10月から在籍したローターアクトを卒業するため、ローターアクターとして最後の行事となりました。これまでは「見送る側」だったのが「見送られる側」となったり、これまででは地区行事等も中心となって運営しておりましたが、次年度以降を見据え、後輩にほとんどの役割を任せたりと、これまでとは全く違う立場で当日を迎えることとなりました。

表彰式では、私が所属する赤平ローターアクトクラブが最優秀クラブ賞、私個人としては3回目の最優秀個人賞、そして地区ローターアクト委員長賞と、たくさんの榮譽ある賞をいただきました。後輩たちに1年間の活躍を表彰してもらいたかったというのは本音ではありますが、このように私の活動を称えていただき、大変うれしく思いました。

そして、いよいよ卒業式の時間となりました。小野寺地区代表から卒業証書と花束を受け取り、クラブの後輩から感動するメッセージ、そしてクラブや地区内他クラブ、他地区の皆様からもお祝いをたくさんいただきました。皆様に温かく見送られ、改めてローターアクトに入会して良かったと思うと同時に、これまで何年も地区やクラブの中心に立ち活動してきたこともあり、ようやく肩の荷が下りたような感覚も覚えました。

卒業式の挨拶でもお話をさせていただきましたが、「奉仕」と「親睦」という目的のもと活動しているローターアクトですが、「誰に対する奉仕か?」が重要であり、その中でも「仲間」に対する奉仕が基本かつ最も大切ではないかと考

えています。クラブの一会員として、困っている仲間はどうすれば良いか、何をすれば仲間を助けることができるか、そして地区の一員として自分はどのように動けばよいか…挙げれば多々ありますが、そのようなことを日々自ら考え、実行した先に「親睦」が生まれ、かけがえのない人脈や、たくさんの視野や可能性、そして貴重な経験や財産が残るのが、ローターアクトの醍醐味といえます。

ローターアクトに入会して、濃密な時間を過ごせるかどうかは、結局はローターアクター一人ひとりの意識次第かと思います。ぜひ、ロータリアンの皆様におかれましては、若い世代の方々がローターアクトを通じて素晴らしい時間を過ごすことができるよう、ローターアクトで実現したいことや取り組みたい活動等を聞いていただき、ローターアクターの手で実現し、達成感や充実感を得られるようサポートしていただけたら幸いです。

併せて、現在、当地区ローターアクトは、2021年3月に札幌市で開催される「第33回全国ローターアクト研修会」のホストを務めることから、会員一同日々知恵を振り絞って準備を進めているところですが、ロータリアンの皆様におかれましては、様々な場面でご支援やご協力をいただくことがあるかと思います。ぜひ、ローターアクトや研修会の趣旨や後輩たちの頑張りをご理解いただき、お力を貸していただけたらと思います。

結びに、これまで多くのロータリアンの皆様と関わらせていただき、たくさん学ばせていただいたおかげで、これ以上ない濃密な20代を過ごすことができました。今後もローターアクトの活動を通じ、仲間や地域社会、世の中に貢献していく若い方々が一人でも多く育まれることを期待しています。

約8年大変お世話になり、誠にありがとうございました。





2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区 インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員長

齋藤 貴之

(札幌モーニングRC)

去る6月15日(土)・16日(日)の2日間、室蘭市にある室蘭岳山麓総合公園宿泊研修施設にて、2018-2019年度インターアクト年次大会がインターアクター80名参加の元、開催されました。今年のホスト校は北海道大谷室蘭高等学校、また提唱クラブは室蘭東ロータリークラブということで、本大会の設営準備等、誠にありがとうございました。

今年は「地域の魅力を感じる」をテーマに、3つのプログラムを構成し、学び・体験・交流を図りました。プログラムⅠは地元の写真家、関浩勝様による「写真を通して見た室蘭の魅力」というタイトルの講話で、「室蘭にしかない風景」を、工場の夜景だけではなく、大草原の一本桜や季節ごとの移り変わりを丁寧に撮影し、切り取って発信する事、また24時間写真が撮れる材料があるというキャッチフレーズで、「撮りフェス」などを開催し、写真を通じた街づくりを行っている姿をインターアクターに伝えて頂きました。最後に関様より、室蘭を愛して様々な情景の室蘭の風景を切り取り、その美しさを街の魅力として発信する街に対する強い想いを伝えて頂き、インターアクターにも今ではスマートフォンなどで撮影しSNSなどを通じて多くの人々に自分の街の魅力を伝えることができるので、是非自分の街を発信してほしいという言葉があり、インターアクターも自身の街に対する愛情を再確認したようです。

プログラムⅡは「スリーエイ」という室蘭発祥の軽スポーツで、あらかじめ学校の枠組みを超えた班編成をして、4チームで競技を行いました。内容はゴルフのパターとカーリングを合体したような競技で誰にでも簡単にできることから、すぐにインターアクター同士仲良くなり、十分に懇親が深まりました。

プログラムⅢは制作体験ということで、鉄の街室蘭を象徴する「ボルタ」や、ボルトなどの材料で作る「工場模型」、また金属板に篆刻して作る「キーホルダー」など、室蘭らしい体験を行い、地域の魅力を感じるプログラムとなりました。

とことん室蘭にこだわったプログラムで、地域を知って愛することが「地域づくり・まちづくり」へと繋がっていくということを、最後の感想として各校より発表があり、素晴らしい年次大会となったと感じています。

3年間の地区委員長、またそれ以前4年間の地区委員で通算7年間インターアクトに関わらせて頂きました。地区を通じて貴重な青少年奉仕の機会を頂戴し、関係させて頂きました理事役員及びロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





「ロータリアン、学友が共にグローバル奨学生の出発を送りました」

地区財団奨学金・学友委員会

委員長 **出村 知佳子**

(札幌北RC)

去る2019年6月22日ロイトン札幌にて、「財団奨学生壮行会と財団学友会総会」が合わせて行われました。

2017-2018年度よりこの二つを同時に開催することになり今回が二回目となります。

この日に新しい財団奨学生は財団学友の仲間となり、財団学友の皆様からも学友の仲間として送り出して頂く事になります。

はじめに財団学友会総会が開催され、鈴木沙織会長の進行で年度の活動等が報告されました。

その後は壮行会・懇親会が行われ、2人のグローバルグラント奨学生から出発に向けての抱負ということでプレゼンテーションがありました。

今年度は、清水一紀さん(疾病予防と治療 イギリス 支援クラブ:札幌RC)重井真琴さん(水と衛生 スウェーデン 支援クラブ:室蘭北RC)の2名が見事グローバル奨学金に承認され、晴れて出発することとなりました。

自身の研究分野、留学先の大学の様子、ロータリーの重点分野とのつながりを熱く語っていただき

ました。

2人のプレゼンテーションの後は、財団学友の皆さんやロータリアンからの激励の言葉が送られ、財団奨学生の2人も更にロータリー財団の奨学生としての自覚を持たれたということで、学友、ロータリアンから激励を受けた心温まる会となりました。

1年間に及んだ、募集、応募、書類選考、面接(3次まで)、現地ホストクラブ探し、財団本部への申請、財団本部からの承認、壮行会と多岐に渡るプロセスを経て、いよいよ御二人はこれからイギリス・ロンドン、スウェーデン・ウプサラの地で研究を始めます。その間毎月の成果をレポートとして地区と支援クラブに送って頂く事となりますが、今後も当地区からのグローバル奨学生2人を激励して頂ければ嬉しく思います。

これからもお二人の活躍を心よりお祈りいたしまして、今回の報告とさせていただきます。今後とも御二人を見守っていただけます様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。





RYLAセミナーを終えて

地区RYLA委員長

長 田 正 文

(岩見沢東RC)

5月18日19日両日、様似町のアポイ山荘にてRYLAセミナー(ロータリー青少年指導者養成プログラム)が開催されました。初日アポイ岳登山がありましたが、天候に恵まれ山小屋迄全員が登山いたしました。その後希望者により8合目まで登り、予定通り5時半頃全員無事下山することが出来ました。それもガイドの田中正人さんの道案内のおかげと感謝しております。

RYLAセミナーは地区委員会とは別に地元のクラブにホストクラブをお願いし、お手伝いをして頂きました。今回ホストクラブになって頂いた様似ロータリークラブの会員の皆様にはとてもお世話になりました、特に久野俊昭会長にはカウンセラーにもなって頂き研修生のお世話までしていただきました。工藤仁幹事には会場打ち合わせから、段取りまで多岐にわたってお世話になりました。また小樽ロータリークラブからは心づけを頂きましたので1日目の昼食代として使わせていただきました。両クラブには心より感謝し、お礼を申し上げます。

さて、今回のセミナー開催地「様似町」はとても自然豊かな地で、アポイ岳は標高800mにもかかわらず高山植物の宝庫ですし、アポイ岳周辺では学術的に非常に貴重な地球深部のマグマが冷えて固まって出来た奇岩類があり2015年世界ジオパークに認定されており、地球の自然を感じてもらうには最適な地であります。

研修生にはアポイ山荘に着くまでに、すでにセミナーのテーマである「共に感じよう北海道の自然を!共に守ろう地球の自然を!」の北海道の自然を感じてもらえたのではと思っております。

開会式では、小山司ガバナー初め、国立金助パストガバナー、細川好弘パストガバナー、第8グループの小関孝雄ガバナー補佐にも出席して頂きました。本当にありがとうございました。

その後、田中正人様の指導の下、アポイ岳に向け登山を始めました。

アポイ岳から下山し夕食を済ませた後、「サル山のボスザルはリーダーか?」というテーマでワークショップを行いました。参加者は初めて会う人ばかりで少々緊張し

た様子だったので、緊張をほぐすのに「マシュマロチャレンジ」というゲームをしました。ところがグループとしての考えが統一されないまま立ち上げた結果、スパゲッティが折れタワーがつぶれたり、倒れたりしたグループが多い中、小山秀昭2020-21年度地区代表幹事のタワーが一番高く倒れなかったのが印象的でした。

ワークショップではオーソリティーとリーダーシップの違いを議論し、2日目に各グループ発表を行いました。2日目はラジオ体操で始まり9:00からRLI方式のディスカッションを取り入れたセミナーを行いました。私が一番心配していたのは、このディスカッションでした。

ディスカッションのテーマは北海道の自然、特にアポイ岳に関する様々な問題を、あらかじめガイドの田中様と打ち合わせの上決めており、そのテーマに沿った事を登山の最中に話しをしていただきました。最初にRLIディスカッションリーダーの山口会員にデモでディスカッションをしていただきましたが、リーダーとなる研修生がテーマに沿ってのディスカッションをリードできるかが気がかりでしたが、皆上手にこなしておりました。最後に記入して頂いたアンケートには、「リーダーは初めてで最初は上手にいきませんでした、非常に良い経験をさせていただいた」と回答された方がおり、一安心でした。

今回このセミナーを通しメニューはギューギュー詰めでしたが、中身の濃いセミナーに仕上げられたと感じております。最後に研修生を推薦くださったクラブ会員のご理解とご協力に感謝を申し上げRYLA委員長の挨拶といたします。本当にありがとうございました。





現新ガバナー補佐・地区委員会 委員長引継ぎ会議報告

地区幹事

福山 眞司

(札幌RC)

2019年6月16日、札幌グランドホテルにおいて10:30より「現新ガバナー補佐引継ぎ会議」、13:30より「現新ガバナー補佐&地区委員会委員長引継ぎ会議」が開催されました。それぞれ現新ガバナー補佐および現新地区委員会委員長により、当年度の活動報告及び次年度の活動計画の発表がありました。

小山ガバナーからは『ロータリー活動の本質は奉仕活動であるが、その奉仕活動の実行の主体・実行部隊となるのは地区及び各クラブの委員会である。ロータリーの基本は委員会であり、各委員会の委員長はリーダーとして委員会毎のテーマの実行をつかさどって行く。委員会のメンバーが委員長のリーダーシップの下でともに活動していくことを通じて仲間意識、友情が芽生え、それがロータリーの2つ目の本質である親ぼく(Fellowship)につながって行く。また、委員会活動は貴重な人材育成の場でもある。次世代のロータリーを支える若い世代をロータリーの仲間に加えて一緒に活動をして行きたい。』とのお話

をいただきました。

福田ガバナーエレクトからは『2019-20年度のRIテーマである“ロータリーは世界をつなぐ”は自分の言葉で言い直すと“ロータリーはいろいろな人々と手を取り合い、より良い世界の実現に向けて行動しよう!”ということになる。多様性のあるロータリアンが共同してこのテーマを支え、実行していきたい。また、「ロータリーは何をする会なのか?」という問いには「他人に対する思いやりを持って、困った人を助けていく、という信念の大切さを広めていくことを活動の本質にしている」とインターアクト年次大会で高校生に話してきた。ロータリアンが共同してこれを実現していくことがロータリー運動であり、この積み重ねが人生の宝になる』というお話がありました。

会議のプログラム終了後、村田研一次期地区代表幹事の司会進行により立食形式の懇親会が開催され、楽しくリラックスした一時を過ごしました。





「地域貢献活動の強化を目指して」 第6グループインターシティミーティングの報告

第6グループ補佐

高橋 哲雄
(余市RC)

4月28日(日)15時より余市町ホテル水明閣で小山司ガバナー、安孫子建雄パストガバナーをお迎えしてグループ内110名の参加者をもって開催されました。

第1部で安孫子パストガバナーによる『地域活性化におけるロータリーの役割』と題して基調講演をいただき、少子高齢化や人口減少、事業所の減少が著しい地方の深刻な状況について、豊富な知識と経験を踏まえた中からスピーチをいただきました。

地方のクラブが将来にわたり会員を確保し持続可能なクラブ運営をするために、地域密着型で今まで以上に奉仕活動を強化して地域の発展に貢献することが必要であり重要であるとアドバイス

をいただきました。

第2部はグループ内7クラブから『地域貢献活動の強化を目指して』のテーマのもと、各クラブの地域貢献事業や奉仕活動の一端など、クラブの特徴や事例を交えて意見交換をいたしました。

小山ガバナーより平成から令和へと新しい時代へ向けて青少年奉仕活動を通じて後世に何を残せるかが大事なテーマになるとのヒントをいただき、まとめの講評をいただきました。

その後、林和秀IM実行委員長の挨拶、津田哲哉小樽RC会長の乾杯で懇親会に入り和気あいあいとした雰囲気の中での交流を深め、今回は小樽銭函RCクラブでの再会を約束して無事終了することが出来ました。





「米山と語ろう」をテーマに第7グループ インターシティーミーティング開催

第7グループ補佐

齋藤 茂 生

(恵庭RC)

5月25日(土)表題の下、小山司ガバナーをお迎えして恵庭市民会館で開催されました。当日第7グループ6クラブ全員の登録をいただき16:30点鐘に続きIM実行委員長横手義信会員の開会宣言でIMはスタートしました。国歌斉唱に始まり、全員のスマイル握手等プログラムに従い最後に小山ガバナーのご挨拶をいただきました。

研修会では「米山と語ろう」を基調講演に、よねやま親善大使イ・ヨンエさん、元米山奨学生ク・リミンさん、米山奨学生ファムデュ・フォンさんの三人による体験、将来の夢、米山奨学会に対する想いなどを話してもらいました。

イ・ヨンエさんからは、よねやま親善大使としての決意、ク・リミンさんからは現米山学友委員会委員となり恵庭RCとの思い出等、又ファムデュ・フォンさんからは恵庭に住んでの大学での楽しい生活や恵庭RCでの例会など、喜びの気持ちを話

てもらいました。

前・元・現の米山奨学生の話聞き、改めて米山梅吉翁の先見と我々もそれに携わる事の喜びを感じました。

第3部の懇親会では恵庭RC村本満男会長の歓迎の挨拶に始まり、RI第2510地区福田武男ガバナーエレクトの乾杯で楽しい宴の幕が開きました。余興には恵庭市民結成の「よさこいソーラン」紅鴉(ベニガラス)の演舞でクライマックスに達し、時間を忘れての一時でした。続いて「手に手つないで」の大合唱後、最後に恵庭RC弘中司嘉子会長エレクトの閉幕の挨拶で幕を閉じました。第7グループ6クラブ会員皆様のご協力に感謝申し上げます。又、IM実行委員会の皆様、会場の設営から始まり全て手作りで有り有意義なIMが出来たこと心よりお礼申し上げます。有難うございました。



2018-19年度 ガバナー補佐退任挨拶



第1グループガバナー補佐
對馬 健一
(留萌RC)

2018-2019年度小山司ガバナーのもと、第一グループのガバナー補佐を仰せつかり微力ではありましたが、グループ内各クラブの会長、幹事を始めメンバー皆様の温かいご理解、ご協力を戴きその任を終えることができ、改めてお礼を申し上げます。ガバナー補佐の立場で各クラブを訪問して感じたことや、自身のクラブを違った目で見え気付いたことなど、これからのロータリー活動を続ける上で大いに自分自身の勉強にもなりました。

ガバナー補佐として地区とクラブとの橋渡し役としての役割を十分に果たせなかった反省はありましたが、IMの開催では、グループ内各クラブの地域での活動の状況の報告や、様々な情報交換などを通じ、お互いの親睦、交流が図れたことにお礼を申し上げます。最後に小山ガバナーはじめ第2510地区役員皆様に感謝を申し上げご挨拶と致します。



第2グループガバナー補佐
石黒 安雅
(滝川RC)

小山司ガバナーのもと、2018-2019年度の第2510地区第2グループガバナー補佐を退任の時を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。私は、自分自身として小山ガバナーのご指導の下でつとめ上げることが出来た事に感謝と感激で一杯であります。小山ガバナーで良かったと改めて心より感謝申し上げます。

顧みますと、第2グループ内メンバー皆様のご支援ご協力を頂きました。とりわけクラブ会長・幹事の皆様から絶大なご協力を賜りましたことは一生忘れることのない事と思っております。そして、浅学非才な私を支えて下さったホームクラブのメンバー、第2グループ内ロータリアン各位に重ねて感謝致します。

最後になりましたが、小山ガバナーの益々のご健勝並びにガバナー月信購読者の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、退任のご挨拶と致します。



第3グループガバナー補佐
福井 昭和
(当別RC)

第3グループ担当のガバナー補佐を一年間務めさせていただきました。2017年12月2日ガバナー補佐会議から始まり、その後各種研修会を通じてロータリーを知ることが出来勉強をさせて頂きました。ガバナー公式訪問でも各クラブが温かく迎えて頂き感謝を申し上げます。各クラブ訪問を通じて感じた事は、各クラブが地域との関わり合いに深く根差したロータリー活動を継続している事です。グループ内各クラブ訪問をする度に温かく接して頂き友情を深めることが出来ました。昨年9月6日に発生した胆振東部地震により急遽2クラブのガバナー公式訪問を余儀なく延期しました。地区とクラブとの連絡役のガバナー補佐としての任務が初めて発揮できたかなと思っています。第3グループのIMのテーマを「高齢社会に於ける各クラブの課題と問題点」としました。各クラブ会長からその取り組みと将来に向けた貴重な発表を頂きました。又記念講演を地元北海道医療大学学長浅香正博様に「わが国から肺がんと胃がんで亡くなる人をなくするために」というテーマで講演していただき、大変貴重なお話で好評を頂きました。更に胆振東部地震で被災された方々に貴重な登録料の中から義捐金10万円の目録を小山ガバナーにお渡しすることが出来ました。グループ内各クラブ会員皆様の好意と友情に感謝申し上げます。終わりになりますが小山ガバナーをはじめ、地区代表幹事、地区役員の皆様、ガバナー事務局、第3グループ内8クラブの会長・幹事、会員の皆様に感謝とお礼を申し上げ退任のご挨拶とします。



第4グループガバナー補佐
中村 和雄
(札幌手稲RC)

小山ガバナーのもとで第4グループのガバナー補佐を務めさせていただき、無事役割を終えたことに対しまして御礼申し上げます。

この1年間、各クラブの会長・幹事さんが真摯にクラブ運営に取り組んでいることと、それぞれのクラブが自主性を持ったオリジナルに溢れた事業活動を行っていることに感銘を受けました。

第4・第5グループ合同IMは地区目標であります“変革”を受けまして「日本のロータリー100年“今、変革のスタート!!”」として札幌市立大学の初代学長 原田 昭先生をお迎えして「AI（人工知能）と組織の変革」というテーマでお話をいただきました。

第2部では、当地区が今年度より採用しましたRLIに基づく大ディスカッションを実施いたしました。会員参加型の大ディスカッションは、初めての試みでしたが会員相互の親睦と交流を図る“IMらしいIM”であったと高い評価を受け終了することが出来ました。

今年度は、北海道胆振東部地震の影響でガバナー公式訪問日に変更になる等アクシデントもありましたが、小山ガバナーの指導の下で予定通り任務を終えることが出来ました。

第4グループの皆さんのご協力に感謝申し上げますと共に、第2510地区の益々の発展を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。



第5グループガバナー補佐
関堂 勝幸
(札幌東RC)

一年間、小山ガバナーの温かいご理解のもとガバナー補佐を務めさせていただきました事に対しまして御礼申し上げます。

当初計画していました各クラブ訪問4回については実行できず誠に残念でしたが、訪問クラブ会員皆様のご協力に感謝申し上げます。又、3回の第4・第5グループ合同会長・幹事会へのご案内にも積極的に参加いただき誠に有難うございました。第4・第5グループの合同インターシティミーティングにも参加していただき活発な良識ある意見交換に深く感謝いたしております。私、ロータリー歴40年を迎える中で二度目のガバナー補佐職を務めさせていただき各クラブへ訪問させていただき会長、幹事様はじめ多くの会員と出会い、ロータリーアンとしての奉仕活動など知識と個々の考えを聞かせていただき楽しい1年でありました。多くの皆様の温かいご理解、ご協力にここから感謝申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。



第6グループガバナー補佐
高橋 哲雄
(余市RC)

2018-2019年度第2510地区第6グループガバナー補佐の退任にあたり、所属クラブをはじめグループ内の皆様のご協力とご支援をいただき1年を終了できましたことに心から感謝申し上げます。

クラブ訪問、ガバナー公式訪問、地区大会、IM等で、小山司ガバナー、安孫子建雄パストガバナーにも大変お世話になりました。

関係各位のご支援により、ガバナー補佐の任務を終えることになりましたことに、改めまして感謝とお礼を申し上げます。



第7グループガバナー補佐
齋藤茂生
(恵庭RC)

今期ガバナー補佐を委託されましたが、もとよりその“器にあらず”です。しかし今年度小山司ガバナーの下、指導を受け、アドバイスをもらいながら一年間活動できました事、本当に有難うございました。

振り返ってみますとロータリー入会からこれと云った仕事もせず、ただ楽しい例会出席だけを信条とし毎年をすごしていました。

ガバナー補佐の大役を命じられ状況は一変、ガバナーより戴いたロータリー入門書、ロータリー情報ハンドブックと首引きで勉強しました。しかし所詮、付け焼刃、中々頭に入らず結局はガバナー事務所の皆様、クラブの皆様の手を煩わす事になり、申し訳なく思っています。

目まぐるしい時代の変遷に順応しロータリーとは何か、地域における奉仕活動とはなにか、色々な想いを馳せながら各会員の皆様と協議してまいりました。補佐の一番の大仕事はガバナーと各クラブの仲介役、橋渡し役ではないかと考えます。今年度の第2510地区目標「持続可能な絶え間なき変革のスタート」のテーマの下、3つの項目を始めとする様々な事柄がうまくクラブに伝わったか、各クラブの要望がガバナーに伝える事が出来たか果たして十分であったかどうか疑問ではあります。

とにもかくにも、一年間大過なく終わりました事、ロータリーの皆様の友情の絆がより深まったことは生涯得ることのできない体験となりました。各会員皆様に感謝申し上げ、退任の挨拶と致します。



第8グループガバナー補佐
小関孝雄
(浦河RC)

所属クラブのメンバーから、全面的に支援するからと言われ、不安と戸惑いのなかガバナー補佐を引き受けましたが、あっという間に一年が過ぎました。

グループ内の会長・幹事さんのご支援、会員皆様のご協力をいただき、この職を終えることが出来ましたことに心より感謝申し上げます。

年度が始まったすぐ、7月からの小山ガバナーとの公式訪問で、大変緊張しておりましたが、いつも笑顔を保つ小山ガバナーに、徐々に緊張も和らいでいきました。

そんな小山ガバナーと第8グループのパイプ役として、どの程度お役に立つことが出来たか疑問ではありますが、各クラブへの公式訪問、IMの開催、クラブ訪問等今までにない貴重な経験をさせて頂きました。

また、経験豊富な他の11名のガバナー補佐の皆様との交流の中で、改めて自分の未熟さにも気づかされました。

今後は、ロータリアンとしてももう少し勉強いたしますので、こりずにご厚誼のほどよろしく願いいたします。

皆様の温かいご指導ご鞭撻、本当に有難うございました。



第9グループガバナー補佐
齋藤正史
(登別RC)

第9グループの会長・幹事の皆さま、そして各クラブ会員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

スタートとなる7月の1か月間、私自身の都合により全く活動できないという状況から始まり、このように年度末を迎えることができるのも、ひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物でございます。ここにあらためて厚くお礼申し上げます。

小山ガバナーが掲げた地区目標「持続可能な絶え間なき変革のスタート」と、1)組織を活性化しよう、2)ロータリーの認識・理解を深めよう、3)地域社会との関わり合いを深めよう、の3つの行動目標は、ガバナーが自ら「あえて数値目標は示さなかった」とおっしゃいましたが、クラブ訪問や会長・幹事会を重ねるなかで、それらの目標は、各クラブが存在感を示すそれぞれの地域で実践しているロータリー活動そのものである、と強く感じることができました。また、ガバナー公式訪問の同行時に、各クラブの例会に出席した折に感じるその感動は、あらためて1人ひとりのロータリアン、それぞれのクラブが主役であることを再認識させていただき、私にとって大変に貴重な経験となりました。

最後になりますが、ご指導いただきました小山ガバナーをはじめ事務局の皆様にお礼を申し上げ、退任の挨拶といたします。



第10グループガバナー補佐
赤塚 章
(長万部RC)

2018-2019年度の第2510地区第10グループガバナー補佐の退任にあたり、グループ内皆様のご支援をいただき1年を無事終了できましたことに心から感謝申し上げます。

各クラブの会長・幹事の皆様にも絶大なご協力をいただき、地区の行事への参加など、ご配慮いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。充分なガバナー補佐としての役目を果たせなかつたかと反省していますが、ロータリーの友情に免じてお許し頂ければと思います。グループ内各クラブの益々のご活躍を願います。

また、私の所属する長万部RC11名の会員から24年ぶりの補佐でした。

郊外クラブの補佐ですので延べ60日スーツを着て会議に出席しました。

この間、小山ガバナーと11人の補佐の方々ともかけがえのない友情ができ、楽しい1年間でした。次年度小山ガバナーは小山パストガバナーとなりますが、私にとりましては生涯小山ガバナーです！



第11グループガバナー補佐
田嶋 英人
(函館五稜郭RC)

退任にあたり、ご指導を賜りました小山司ガバナーにまずもってお礼申し上げます。また、拙い役回りで大変お世話になりましたグループ内各クラブ会長・幹事・ロータリアンの皆様に、ご支援とご援助に心から感謝申し上げます。

そして、IMの運営や日常の活動に全力でバックアップして頂いたホームクラブ(函館五稜郭RC)のロータリアンやガバナー補佐経験者、理事役員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。ガバナー補佐の大役は、ホームクラブの理解とバックアップそしてグループ内各RCの協力が欠かせません。時には厳しく、時には我を通しての(失礼)ご意見を下さいました第10・第11グループの会長・幹事の皆さんとお付き合いは、きっと忘れがたい思い出となると思っています。各クラブ訪問では、赤ちゃんと同席する例会や大先輩の皆様との同席する機会を戴いた例会は大変貴重な経験となりました。そして何よりもの宝は沢山のロータリアンと接する機会を戴いたこと、そして貴重なお話を沢山頂戴できましたことはこれからのロータリー活動や人生の指針ともなるものでした。この一年、貴重な体験をさせていただき有難うございました。



第12グループガバナー補佐
清水 尚昭
(白老RC)

小山司ガバナーの下、第12グループのガバナー補佐として1年間務めさせて頂きました。ガバナー補佐の依頼を受けてから不安だらけの出発でした。その後、PETS、地区研修・協議会、IM、各クラブとの会長・幹事会、訪問など、あっという間に時が過ぎてゆきました。また、昨年9月6日発生した胆振東部震災は、私にとって忘れることのできない出来事でした。小山ガバナー・高山委員長をはじめ多くの方々に御支援御協力を頂き心からお礼を申し上げます。

私にとって、ガバナー補佐は多くの人たちとの出会いの1年でした。次年度ガバナー補佐引継ぎも終了し、ガバナー補佐の仕事を終えることが出来ました。

小山ガバナー、久保田俊昭地区代表幹事はじめ地区役員の皆様、また、各クラブ会長・幹事の皆様に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。充実した1年間をありがとうございました。

2018-2019年度 地区委員長退任挨拶



委員長
国立金助
(函館RC・PG)

地区会員増強委員会

2016年RI規定審議会にて、クラブの柔軟性が大幅に認められ人口減少の中、各々のクラブが自己責任のもと、大胆な改革が求められている中第2510地区会員数は、小山年度スタート時点では、クラブ数69クラブ・会員数2544人でした。2019年5月31日現在は、クラブ数70クラブ、会員数は2638人となりました。(クラブ数1増・会員数94人増。)

4月6日岩見沢にて「岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ」認可祝賀会が開催されました。この衛星クラブは、スポンサークラブの増強を主とするもので11名の会員でスタートしました。(岩見沢ロータリークラブ会員の平均年齢も65才から63才となったとのこと。)

この事は、全国のクラブにとって朗報となる、すばらしい方向性の示唆を与えてくれました。

2018年7月22日地区会員増強セミナーには、第1ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐の菅原裕典PG(仙台泉RC)を講師にお招きして「魅力あるロータリーを目指して」の演題にて開催致しました。

地区クラブ奉仕委員会は、会員増強・親睦活動そして公共性向上を進めるうえでの広報活動に関するクラブアンケートを取らせて戴きました。(結果はクラブ奉仕委員会がまとめ報告します。)

内外ますますきびしい情勢が続くと思います。しかしクラブにとっては、「ピンチをチャンス」に変える絶好の機会が訪れたと思います。各クラブの活躍を期待して報告と致します。



委員長
武部 實
(札幌南RC・PG)

地区RI国際大会推進委員会

今年度国際ロータリーのテーマとして「インスピレーションになろう」が掲げられ、会員の皆様におかれましては、自他を鼓舞(インスパイア)、または元気づけ、明るい奉仕活動、そしてロータリーの未来のビジョンについて語り、会員や地域の人々へのインスピレーションとなって、次世代のために持続可能な活動をしてきたとお察しいたします。1年間大変お疲れ様でした。

当委員会として訪れたドイツ、ハンブルクは、ヨーロッパの中でも一番混雑する港湾都市、またドイツで初めてロータリークラブが生まれたこの都市は、相互に関連しあう世界的な役割を果たしており、ロータリアンが一同に集うには大変相応しい開催地でありました。

第2510地区からは15クラブ総勢45名が御地を訪れ、本会議へは若干名が参加し、世界のロータリアンとの親交を深めてきました。同夜、オンツォー委員会である我が札幌南ロータリークラブ主催の「北海道ナイト」が開催され、安孫子PG、羽部PG、嵯峨PG、小山G、福田GE、福井GNにご参加いただき、地区内ロータリアン同志の親睦を深めました。フルコースディナーのおもてなしを喜んでいただけたようで、私自身もほっとしております。この推進委員長をもって、ひと段落が付いたところですが、ガバナーノミニー・デジグネートから数えると通算6年の間、すべての会員からこれまで支えていただいたことをこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。特に橋本耕二地区代表幹事をはじめ、地区幹事の方々およびドイツに18名もの方々に参加をいただいた札幌南ロータリークラブには心から感謝申し上げる次第です。

次年度は6月6日-10日の日程でホノルル市(米国、ハワイ州)にて開催されます。多くの会員の参加を期待しております。ゲーテンタークからアローハへ!



委員長
羽部大仁
(札幌南RC・PG)

地区拡大委員会

1. 札幌南ライラック衛星ロータリークラブが認可を受けて3年を過ぎたことからクラブに独立支援委員会が設置され1年間会員増強に努めたが余り効果が上がらず、暗礁に乗り上がる状況となる。新年度を迎え6名の増強を得て、新クラブ拡大に向けての基盤が整備された。国際ロータリー日本事務局支援室の尾畑氏の支援を受け、11月21日に「札幌ライラックロータリークラブ」が国際ロータリーから第2510地区70番目のクラブとして認証されたのである。実に函館セントラルロータリークラブ以来の拡大となった。

2. 2月1日プレミアホテルTSUBAKIにおいて「国際ロータリー加盟認証状伝達式」が小山ガバナーご夫妻、地区内パストガバナー、地区役員の下、盛大に挙行された。新クラブアドバイザーには羽部PGが就任した。

3. 感動的な衛星クラブの誕生! 4月6日岩見沢ホテルサンプラザにおいて「岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ認可祝賀会」に参加して一緒にお祝いを申し上げた。この衛星クラブはクラブになるためのクラブでなくスポンサークラブの増強のためのクラブであること。画期的な発想の転換による衛星クラブの誕生となった。嵯峨PGの温めてきた新しいプランにこれからの衛星クラブの新モデルとして全国から注目されている。

4. 他に幾つかの活動の計画を挙げたが、具体的な話としての進捗はなかった。しかし、次年度に向けて具体策の模索を期待したい。

5. 今年7月から旧第1ゾーンは第1ゾーンa(第1地域)として第1ゾーンbにはインドネシア・バングラディシュ・パキスタンの3カ国の地区が加わることになった。1日も早く1ゾーンの回復を実現したいと考える。それには3万5千人が必要で、一層の増強が不可欠である。地区内の状況を鑑みるとクラブ会員の高齢化がクラブ活動のマンネリ化に拍車を掛け、クラブの衰退化に繋がることが懸念される。若い年齢層の会員の獲得が急務である。そのためのクラブ拡大は実に重要な課題である。



委員長
渡邊恭久
(滝川IRC・PG)

立法案検討委員会から規定審議会

2510地区内委員会として変化に対応すべく会員の声をまとめ、委員会として提案の審議をしていく立法案検討委員会が一昨年発足しました。しかし従来からの規定審議会代表議員と立法案検討委員会との相関性がうまく機能せず残念ながら年度中の成果を上げることが出来ませんでした。本年度の2019年の審議会は2019年4月14日から19日までイリノイ州シカゴ市に世界各地から538名の代表議員が集まり117議案の中46議案を採択いたしました。議案の中ではとりわけローターアクトクラブのRI加入を認める、人頭分担金を3年間その間毎年1ドルづつの値上げを認め、職業分類の制限を廃止し、メーキャップの有効期間をその年度内とする。クラブの年次総会で昨年の実績、今年度の予算執行状況を発表しなければならないことなどが制定されました。なお規定審議会のその他詳しくは当委員会が独自で作成各クラブに配布しました2019年規定審議会報告書を参照ください。



委員長
菅原秀二
(札幌大通公園RC)

学友委員会 学友委員会の3年間を振り返って

3年前に、武部ガバナーより、財団学友委員会を発展させて、財団学友に加え、米山学友、ローターアクト学友、インターアクト学友、ローテックス(青少年交換学友)、RYLA学友といった青少年関係の事業すべてに関わる地区の委員会を立ち上げる旨を伝えられ、その取りまとめ役を依頼されました。私の力に余る大役を任せられ、当初は方向を探りながらのスタートとなりました。

武部ガバナー年度は、まず青少年すべてに関わる「青少年・学友・RYLAプログラム」が、10月の地区大会並行プログラムとして開催され、その後、当初からの目標であった、全学友の親睦と青少年関係プログラムをロータリアンに知っていただくための集会である「学友体験・帰国報告会」を1月の末に開催し、盛況のうちに終えることができました。この企画は、次の国立ガバナー年度、また、「学友交流会・帰国報告会」と名称を変更して、小山ガバナー年度にも継続して実施して

おります。その結果、いつの間にか全国の学友組織の最先端になってしまい、福田ガバナー年度には、学友会の全国組織である「日本ロータリー学友会」を札幌で開催することになりました。この間の皆様の御協力に感謝申し上げます。

また、国立ガバナー年度より、従来「帰国報告会」と一緒に開催されていた「財団学友会総会」を年度末の6月に「財団奨学生壮行会」と一緒に実施することにしました。この理由として、財団奨学生は帰国してからではなく、奨学生になった時から学友になるという定義の変更があります。この会の立ち上げには、出村財団奨学金・学友委員長の協力をいただきました。記して御礼申し上げます。さらに、国立ガバナー年度には、財団学友会の10周年記念の翻訳事業である『黄金の輪』も出版されました。これも国立ガバナーはじめ、地区の役員の御協力をいただいています。これについても感謝いたします。

しかし、財団学友会や米山学友会以外の学友会の立ち上げを現実化することをはじめ、まだ多くの課題が残っています。次期の学友委員会にもオール学友というコンセプトを維持して、ロータリー・ファミリーの構築に寄与していただくことを期待します。



委員長
岩崎 修一
(札幌東RC)

文献史料室

文献資料室は今年度は活動方針として、「次世代の文献資料室作りを目指し、次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します」のもと活動をしてきました。

文献史料室の設立目的である、情報の蓄積の一端を地道にこなしてきたと考えています。

また、資料室には貸し出し用の文献(VHS・DVD)がございますが、今後は各クラブへの発信方法などの課題を検討していきたいと考えております。

3年間の年数を委員長として過ごさせて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。今後の文献資料室の発展を期待しております。どうもありがとうございました。



委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

クラブ奉仕委員会

今期久しぶりに開設されたクラブ奉仕委員会です。

ガバナーの依頼により、わが地区にはクラブ奉仕と言うロータリー5大奉仕の中の一つの委員会が欠けているので復活したいと言うお考えの下生まれた委員会でした。

クラブ奉仕委員会は松浦副委員長及び堀元ロータリー情報委員長と武蔵広報・ICT委員長、ほか委員4名、地区担当幹事1名の合計8名で活動をし、無事1年間を終えさせて頂く事が出来ました。

前年度の1月には第1回準備委員会を開催して、4月には委員会正式発足以前ではありますが地区研修・協議会の中で第3分科会を受け持ち羽部PGの基調講演を頂き、その後[会員や一般の方から見て魅力的なクラブとは]と言うテーマで各分野に分かれディスカッションを行いました。

今思いますと事前に各RC宛てにアンケートを送り各クラブの情報を集めた事が、研修・協議会やクラブ奉仕委員会の良い資料となりました。

今年度上半期の活動としては今期に入って行われた会員増強セミナーで(アンケートの中間報告)と言う事で皆様にお話をいたしました。

下半期には4月に前年度同様、地区研修・協議会が開催され、前年同様第3分科会を受け持ちクラブ奉仕委員会部門、会員増強委員会部門、広報・ICT委員会部門、情報委員会部門の4つに分けてディスカッションをして頂きました。

振り返りますとこの1年間魅力ある力強いロータリークラブを作る為には何が大切なのかと言う事について皆様とディスカッションをする良い機会が出来たかと思えます。

ご協力を頂いた各RCの皆様と委員会メンバーに感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



委員長
武蔵輝彦
(岩見沢RC)

地区広報・ICT委員会

ロータリーを多くの人に知ってもらうことがロータリークラブの活動の飛躍につながり、理解者・協力者を増やす事が会員増強にも結び付いていきます。「私達にとって効果的な広報活動とは」を模索し実践する一年でした。

広報チームの担当した対外的な広報活動としては「財界さっぽろ」への連載記事掲載を行いました。3年目となる今年度は24クラブと地区3委員会、小山ガバナーと財界さっぽろ船本社長の対談を掲載し、予定していた地区内69クラブの紹介を終える事ができました。ご協力いただいたガバナー補佐、クラブ、地区委員会の皆様に心から御礼申し上げます。ただ誌面の都合により今年度新しくスタートした札幌ライラックRCの掲載が出来なかったことをお詫びいたします。

ICTチームの担当としては地区ホームページの充実、活用を推進してまいりました。まだまだ対外的に魅力的なHPとはいかず各クラブや地区委員会との連携の在り方に課題を残しました。また、クラブ、会員間の情報共有に有用な「マイロータリー」のPRもおこなってまいりました。地区内の登録状況は小樽クラブの一括登録や札幌クラブ、千歳クラブをはじめ多くのクラブの登録促進のおかげで18年7月の26%から19年6月には31%まで増加することができました。まだまだ胸を張れる数字ではありませんが一步一步進めていかなければならないと思っています。

ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



委員長
堀元雅司
(札幌南RC)

ロータリー情報委員会 手探り状態の1年間

2018-2019年度小山ガバナー年度に新設されたロータリー情報委員会と言うことで、何を情報発信したら良いのか?ということで悩みながらのスタートでした。活動方針として掲げた「各クラブの有意義な情報を地区全体で共有できるように発信する。」という事で、国際ロータリーも推奨するSNSの利用を考え、Facebookのグループを利用して第2510地区限定で情報交換のスペースを立ち上げました。なかなか思ったようには進みませんが、100名ほどの会員にご参加頂いて情報発信を行っています。2019年度ハンブルグ国際大会での北海道ナイトの映像もハンブルグから直接発信させていただきました。

2018年に、第2510地区がRLIの支部として正式に実行する事が決まり、以前から進めている渡邊副委員長が中心となって、何度か、RLIのディスカッションリーダー研修会を開催しました。ここで学んだディスカッションリーダー候補が次年度はリーダーとして、単独の委員会で本格的にスタートになると思われま。ロータリー情報委員会は、情報発信という立場で、広報ICT委員会とも連携して進める事が必要だと感じています。各クラブの刺激になるような情報が発信できればと思っています。次年度も、引き続きよろしくお願いたします。



委員長
玉井清治
(函館亀田RC)

職業奉仕委員会

各クラブ職業奉仕委員長様の要請により、地区職業奉仕委員会の委員長として、卓話スピーチ・フォーラム・IM講演・職業奉仕セミナーなどを通じて職業奉仕理念を各クラブへ浸透させるべく、活動してまいりました。3年間で延べ50クラブ以上のスピーチを終え、間違いなく、地区内各クラブの職業奉仕に関する理解や関心が高まったと実感しております。いまの変化するロータリーで、情報の共有を図ることは非常に大切です。スピーチに伺わせていただいた際、クラブの会長様・幹事様・職業奉仕委員長様と、できるだけ情報交換をさせていただき、古くから伝授されてきた日本の職業奉仕理念と時代の変化や国家宗教の違いから、解りづらくなっている vocational serviceを解りやすく説明させていただいたつもりです。この認識合わせを行えたことは非常に有意義で、世界の流れを認識しつつも、日本のロータリアンにとって職業奉仕の理

念の実践をすることこそ、会員の事業繁栄はもちろんのこと、永続的なクラブの繁栄に繋がることと思っております。是非、堅持して頂きたいものです。

音楽家は音楽を通して社会貢献しております。スポーツ選手はスポーツを通して社会貢献しております。職業人の集まりであるロータリーは職業を通じて社会貢献しております。昨今、減少の一途を辿るクラブにいちばん大切なのは何かを今一度考えていただき、これからも職業奉仕の重要性を皆様で語り合ってください。最後に、ご協力いただきました地区職業奉仕委員の皆様、事務局の寺島さん、ガバナー月信に毎月掲載を許可していただきました国立直前ガバナー、小山ガバナー、助言ご指導いただきました塚原パストガバナー、激励していただきました各クラブの皆様に敬意を表し深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。



委員長
高山 和宏
(札幌東RC)

社会奉仕委員会

国立年度の「120万本の植樹事業」が無事終了し、小山年度では、地区委員会を窓口とした事業の計画を予定していなかったため、今年度はゆっくりできるかなと思っていたところ、昨年9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、その支援事業を地区社会奉仕委員会が中心となり行うこととなりました。地区には地区内クラブをはじめ、国内外の多くのロータリアンから支援金が寄せられ、その有効な活用方法を検討することとなり、まず、はじめに震源地に近く被害が最も大きかった胆振東部3町を訪問いたしました。3町訪問の際には、テレビの映像で見ていた状況を実際に目の当たりにすると、言葉がありませんでした。そのような環境のなかでも3町の町長さんをはじめ、役場のスタッフの方々は、疲れた様子も見せず、いち早い復旧・復興に向けた業務に黙々と当たられており、元気な姿が今でも印象に残っています。

被災地の復興はまだスタートしたばかりで、福田年度でも継続して可能な限り被災地支援を行う予定です。ロータリーらしい支援活動とはどういうものか、会員の皆様からご意見をいただきながら、70クラブと連携しながら、活動していきたいと考えております。



委員長
谷口 正樹
(滝川IRC)

国際奉仕・VTT委員会

委員長就任3年目の年度でありました、皆さんに支えられ1年を終えることができました。地区内クラブの皆様、小山ガバナーをはじめ地区の皆様、そして委員会の皆様本当に感謝しております。今年度もタイ国(3340地区ノンカイRC・3350地区バンコククロントイRC)の友情の下、タイ東北部ノンカイ県を中心とした15の学校で16の奉仕事業・職業訓練事業を展開できました。長年第2510地区が数多くの小学校へクリーンウォーター事業として浄水器を設置してきましたが、ここに来てその浄水器が破損して使えない物が出ている現状から、2016年より3か年計画として、これら浄水器の「リペアー事業」を展開させていただいています。故障の大きな原因は想定使用量を超える使用によるタンクあるいはバルブ等のオーバーワークが原因でありました。考え方を変えるとそれだけ設置した学校の生徒あるいは地域住民に有効に利用して頂いている証拠であると思っています。現地を確認した際は学校の生徒、先生、地域の住民に多大な感謝を受けてきました。私たちが設置してきた浄水器は地域の住民にとって認知された重要な生活機器になっており、我々が長年活動してきた奉仕活動は間違っていなかったことを確認してきました。

今年度は第3340地区ロータリアンと協力してきた事業の20年目でもあり、県知事をはじめ多くの行政責任者から謝辞をいただきました。今後も地元ロータリアンと一層協力し合い事業を進展させ、益々この地に住む子供たちが成長し、「きれいな水・多くの本との出会い・整備された学校」から健康な社会人そして国際人に繋がるものと私は信じています。そしてこの地を発展させてくれることを期待しています。

今年度も1月27日より6日間で「事業検証ツアー」を開催いたしました。小山ガバナーを団長にスタッフを含めて28名で「小山組」を編成し、今年度事業の完了を確認してきました。この内容に

については各クラブへ郵送させていただきました「事業報告書」にて皆様への報告とさせていただきます。また参加されたメンバーの皆さんは改めてロータリー活動のすばらしさを感じていただいたものと思っています。また次年度も開催を予定しておりますので多くのご参加をお待ちしております。

さて、7月より新年度が始まりますが、この経験を踏まえて活動してまいります。多くのメンバーの皆さんに国際奉仕活動・職業訓練活動に触れる機会を作っていきますので新年度もよろしく願います。

本当に1年間ありがとうございました。



委員長
西 方 洋 昭
(岩見沢RC)

青少年奉仕委員会

今年度、青少年奉仕委員会ではインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会の青少年4委員会の運営がスムーズに行われるお手伝いと、各委員会同士の連携強化、地区内各クラブからの様々な要望に対応できる委員会運営を推進して参りました。活動内容としては10月21日開催の指導者育成セミナーを青少年奉仕委員会がパネルディスカッションを担当、ローターアクト出身者のローターアクト委員会の川下委員長、青少年交換委員会の西村委員長、RYLA委員の吉岡会員がパネリストとなり、それぞれの体験談から、ローターアクトからロータリアンになる事のメリットや、ローターアクト増員の必要性を参加した会長・幹事に訴える事が出来ました。

また、地区大会並行プログラムでは、青少年参加者がロータリアンの奉仕体験を聞くことで、ロータリーへの関心が更に深まり、大通公園でのポリオ募金活動では、普段関わりのない若者が一緒に募金活動をすることで青少年の委員会の垣根を越えた交流が出来ました。

一年間、事故、怪我なく無事に活動を終えることが出来ました。小山ガバナリー、久保田地区代表幹事をはじめ、関係ロータリアンの皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。



委員長
西 村 英 晃
(恵庭RC)

青少年交換委員会 未来ある青少年と共に

まず、2018年7月-2019年6月もとても速い1年だったなと感じております。

これもひとえに皆様の青少年交換へのご理解ご協力のもとスムーズな運営ができたことだからだと思います。一年間どうもありがとうございました。

初めての委員長職で右も左も全く分からない状況で、基本ベースの青少年交換の流れを再構築しようとスタートした3年前を振り返ると懐かしさも感じ、今になってはすべてが勉強で一緒にこの間を過ごしてくれた委員、青少年交換学生、ROTEX、受入学生には共に成長できて「ありがとう」と言う気持ちでいっぱいです。

また、毎年増え続ける青少年学友である青少年交換学友(ROTEX)という私たちの財産にロータリーをもっと知ってもらい積極的に我々の行事参加を促しロータリーに理解のある地域人材育成と言う観点から、今後は青少年学友(ROTEX)の育成に力を注ぎたいと思います。

最後に、3年間の関わりの中で、派遣候補生、ROTEX、受入学生にロータリーと言う奉仕団体の事業でこのプログラムに参加していることから「今自分たちにここでできる奉仕活動」をテーマで自分たちに何かできることを考えてもらい実行してもらった場面がありました。

その最中に普段見えない一面を見る事ができたこと、例えば率先して前に立ってまとめ役になっていた学生は、実は将来先生になりたいという夢があるということなど、研修中での新たな発見があったことも思い出に残っております。

未来ある青少年の育成に関わらせて頂けたこと、心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



委員長
長 田 正 文
(岩見沢東RC)

RYLA委員会

今年度RYLA委員会では、小山司ガバナー、西方青少年奉仕委員長に委員会に出席して頂き8回の委員会を開催し、5月18、19日開催されるセミナーの内容を検討してきました。RYLAセミナーにおいて、カウンセラーの重要性を認識していましたが、カウンセラーになるロータリアンがセミナーの中でどの様な役割を果たせば良いのか、又研修生とどの様に接すれば良いのかをわからなくてはセミナーを成功させることが出来ないと考え、日本でのRYLAセミナーで歴史のある、又日本RYLAセミナーを開催している、第2680地区の安行英文様をお迎えしカウンセラー講習会を開催する事を決め、3月16日ロイトン札幌で講習会を開催しました。安行様はRYLAだけではなく青少年奉仕にはとても詳しく、故今井鎮雄元RI理事、深川純一パストガバナーといつもRYLAのことを議論し合ったそうで、とても内容のある研修会になりました。ただ残念だったのは、全クラブに案内を出したのですが参加者が少なく、非常にもったいなかったと反省しております。その研修会に参加したロータリアンにカウンセラーになって頂き、5月18、19日RYLAセミナーを開催いたしました。RYLAを知って頂くために第8グループの方々、特に開催地である様似ロータリークラブの方には大変ご協力を頂きました。

内容はアポイ岳登山では仲間が協力し合い登山する事の重要性、ワークショップではリーダーシップとオーソリティーの違いを討論し合い、ロータリーのリーダーシップを学び、RLI方式のディスカッションでは自分がリーダーとして討論を進める難しさ、自分でもディスカッションリーダーが出来るんだという自信を持ったように思います。

1年間を通じ、まだまだRYLA委員会として未熟な部分もありますが、研修生の終了した後の顔、話を聞くと、RYLAセミナーを開催して良かったという感想と、地道に活動を続けることが大事であると認識いたしました。



委員長
齋 藤 貴 之
(札幌モーニングRC)

地区インターアクト委員会

地区内ロータリアンの皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。6月30日を持ちまして無事に2018-2019年度インターアクトの活動を終わることができました。併せまして、通算7期(内地区委員4期・委員長3期)務めさせて頂きまして誠にありがとうございました。これもひとえに歴代のガバナーをはじめとしました地区の理事役員の皆様、また提唱クラブの皆様、ひいては地区内約2,600名のロータリアンの皆様のお陰と、改めまして心より感謝申し上げます。

第2510地区のインターアクトですが、北海高校・札幌第一高校・札幌山の手高校・札幌龍谷学園高校・大谷室蘭高校・岩見沢緑陵高校の6校で昨今は減少の一途を辿り、80名程度のインターアクターによって構成されております。彼らは日頃各校ごとにボランティア活動を行っており、地区の活動としては年次大会の開催・出席、研修旅行、地区大会平行プログラムの参加、時によりRYLAやその他の青少年奉仕プログラムに出席します。ただ、残念なことにその活動のほとんどは、6校を提唱している6クラブ以外には殆ど知られていないというのが実情です。地区委員会としましても更に活動を周知していきますと共に、ロータリアンの皆様にも是非ご興味を持って頂きたく存じます。地区内70クラブに対して1割に満たない提唱クラブの数もやや寂しく、新規で提唱をお願いすべく、地区内何処へでも馳せ参じます。因みにお隣の第2500地区は12校と伺っております。私の任期の最後に来て、インターアクト活動に興味をもつ高校が登場しました。次年度委員長に引き繋ぎ、1校でもロータリアンのボランティアシップを持つインターアクターが増える事を願います。



委員長
川下 和光
(札幌南RC)

ローターアクト委員会

本年度は、委員長就任二年目でした。

小山司ガバナーをはじめ多くのロータリアンにご理解とご協力そして色々な面でサポートいただき感謝申し上げます。

反省点といたしまして、新設ローターアクトクラブの立ち上げが出来なかったことと、提唱クラブ以外のロータリークラブとの奉仕活動が出来なかったことが挙げられます。この2点に関しましてはひとえに委員長である私の力不足が原因であります。ローターアクトの会員は本年度も積極的に活動をしてまいりましたが地区内に周知していただけなかったことが要因と考えられこのことから私の広報力不足であることは明確でございます。いろいろな面でサポートいただいております小山司ガバナーをはじめ多くのロータリアンに謝意を申し上げます。

ここ数年当地区で問題となっております会員減少は提唱頂いておりますロータリークラブの皆様のおかげで本年度に関しまして一時期66名(現在40名)まで回復いたしました。ご協力に感謝申し上げます。

活動面に関しては、昨年度から引き続きポリオ募金活動を行ったり提唱クラブとの活動をより充実させております。クラブによっては新たな奉仕活動を実施しているクラブもございます。今後とも各クラブ活動のサポートをしっかりと行ってまいります。

そして、先日福岡県にて開催されました第31回全国ローターアクト研修会にて正式に承認され、第33回全国ローターアクト研修会が当地区ホストにて開催されることが決定致しました。(日程2021年3月13日・14日開催)当地区アクターはより一層準備等に真剣に取り組んでおります。今後地区内ロータリアンの皆様には色々な面でサポートをお願いすることになりますがご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後に小山司ガバナーをはじめ本当に多くのロータリアンにご理解ご協力を賜り感謝申し上げるとともに、次年度は第33回全国ローターアクト研修会の準備ならびに地区内にローターアクト普及活動を行ってまいります。

今後ともローターアクトを宜しくお願い申し上げます。



委員長
丸山 淳士
(札幌真駒内RC・PG)

ロータリー財団委員会

3年間のロータリー財団委員長を勤め、数多くの思い出を頂戴いたしました。

委員長になるやいなやドイツの青少年交換委員長から怒りのメールが嵐のように襲って来ました。「なんで私たちの希望しているデータが送られてこないのかー」「おまえたちの誠意を感じない!ロータリー本部に訴えてやるー」メールのやりとりが続き、なんとか収まり、無事に青少年交換が行われ、一転して「来年もやろう!」と言われましたが、丁重にお断りました。すぐに今度は前年度に奨学金の承認の済んでいて、すでにイギリスに留学している学生に、同じコースに別の学生がいたので残念ながら奨学金は出せませんというらせ! 学生はすでに現地で勉強中であり、今更戻ってきてくださいというわけにいかず、当時の武部がバナーに泣きついて、地区の奨学生として面倒を見てもらう羽目に!

その後の奨学生の事業は予定通りに問題なくできるようになりましたが!

ロータリー財団が特にロータリー歴の長い年長者の間に根強い反感があるので、なんとか卓話で説得してくれないかというクラブからの要望があり、卓話に出かけたこともありました。

考えてみると、ロータリークラブに入会したのはのだけれど、財団があることなど誰にも知らされずに、寄付の話など一切なしで過ごしてきた古い会員が財団への不満感を持っているようである。このことを考えてみると、世界各地にある「継子いじめ」と共通する話であることに気がつきました。日本にも継子いじめの童話は数多くあり、シンデレラ姫、白雪姫など西洋の有名な童話にも数々の継子いじめがあります。「継子の尻拭い」という植物があることを知りました。歯の裏、茎に鋭

いとげをもった庭先や道路脇に生えている草です。この葉で尻を拭かれたら、ひどいことになるのでこの名がついたのでしょう。(ちなみに韓国ではおなじ草花を「嫁の尻拭い」という)

ロータリー財団はロータリーの連れ子です。これをいじめたい気持ちは継子いじめの根本にあるのでしょうか。しかし、どの話も継子をいじめた人に天罰が当たっているのです。法律でも連れ子の親権は再婚した夫婦にあります。ロータリー財団もその「親権」はロータリアンにあるのです。かわいがって育てるのが当たり前のことなのです。

皆様のおかげをもちまして、長い年月1円もロータリー財団に寄付をしなかったクラブが我が地区にありましたが、寄付ゼロクラブが解消できました。

ロータリー財団がロータリアンからかわいがられることが続きますことを心より祈念申し上げ、任期終了のご挨拶といたします。

地区財団補助金委員会

財団補助金委員会には島義慈(当別RC)、長谷川美栄子(札幌西RC)、関根悟(千歳セントラルRC)の3会員にご協力していただきました。

R財団からの地区財団補助金は9,270,358円(利息5円含)(前年度12,568,085円)で、各クラブへの補助金の配分基準は下記の通りといたしました。

①クラブ、1プロジェクトの申請とする、②3年前の寄付金の1/4を上限額とする、③最高額は40万円とする、④会員数19名以下程度の小規模クラブは10万円とする。

2018年3月に開催された、R財団セミナーで会長エレクトへ説明を行い、5月31日に申請書を締切り、6月に審査会を実施いたしました。

補助金申請は41クラブから40プログラムで前年度からそれぞれ2件増えました。

審査の結果、全ての申請プログラムを承認し、承認額は合計6,160,000円(前年度4,125,788円)といたしました。

地区委員会から4件の申請があり、社会奉仕委員会250,000円、国際奉仕・VTT委員会1,000,000円、財団奨学金・学友委員会1,400,000円、学友委員会300,000円の合計2,950,000円を承認し、補助金は2018年8月に振込みました。管理費は160,358円でした。

2018年9月6日に発生した胆振東部地震の支援を試みましたが、財団地区補助金は会員が活動する経費など、一部利用できないものもあり支援内容に苦労しましたが、高山社会奉仕委員長のご尽力でペット救護対策の支援ができました。

今年度は就任2年目で少し慣れましたが不勉強のため各クラブ・委員会の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

次年度もご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



委員長
澁谷 良治
(札幌真駒内RC)

財団資金推進委員会

地区における資金推進は財団への募金活動の重要な役割を担っております。私達が地域社会や国際社会で奉仕活動を強化・充実していくためには、奉仕活動に対する強化と資金面の援助が必要となります。

2014年度より一人当たりの寄付額150ドルをお願いしております。この年次寄付を初めと致しまして、恒久基金、使途指定寄付、ポリオ撲滅への寄付をお願いして参りましたがロータリアンの皆様に御理解頂けなかった事が残念であると共に、私の努力が足りなかったことを深く反省する次第であります。

御理解を頂きましたロータリアンの皆様の御協力には深く感謝申し上げます。

社会経済が不安定で景気の回復の兆しもみつからない今日、財団への御協力を御願い致しますことは、非常に心苦しいことではありますが、寄付することによって、世界中の奉仕活動に参加して



委員長
坂下 賢二
(函館セントラルRC)

いることにも通じますので、国際ロータリー活動を支援するという観点においてもロータリアンの皆様の温かい御支援、御協力を何卒、よろしく御願い申し上げます。

3年間、財団資金推進委員長を務めさせて頂きました私自身が多くを学ばせて頂きました。任期は終わります。御協力頂きました皆様に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



委員長
伊藤 利道
(札幌南RC)

ポリオプラス委員会

当委員会は各クラブのポリオ撲滅活動・募金活動の支援のためのクラブです。毎年度始まりの7月にEND PORIO NOW のバッジを新会員の分として会員数の5% (最少で3個)を送付しました。また今年度はポケットティッシュを新たに作成し各クラブへ100個ずつお送りしました。これまでに作成した募金箱シール、チラシ、ポスターなど注文がありましたので4クラブにお送りしました。

今年度はポリオサバイバーの実話に基づく映画「プレス」の団体鑑賞会を実施しましたが、残念ながら20名ほどの参加で終わりました。

ポリオ指定寄付に関しましては6月21日現在、地区からDDFの20%を超える31,875ドルの寄付を頂き、各クラブからは39,461ドルの寄付を頂きました。残念ながら昨年度より10,000ドルほど少ない状況です。

ポリオの患者数は2016年37名、2017年22名、2018年33名、2019年5月22日現在24名とこの2年間でやや増えております。しかし、世界的な大流行の報告はなく、野生株ポリオウイルス常在国でのワクチン接種という現在の活動を続けることが、日本を含めた非常な国でのポリオ患者の発生阻止のために大変重要なことであり、次年度も委員会活動を継続したいと考えております。次年度は卓話等で活用していただけるよう「ポリオに関する動画・説明スライド」を作成したいと考えております。次年度もポリオ撲滅活動・募金活動に御協力をお願いいたします。



委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

財団奨学金・学友委員会

財団奨学金・学友委員長としての2年目の年度でした。

昨年度は経験のない中で不安だらけのスタートでしたが、関係皆様に御支援頂き、財団奨学生の募集から出発までの一連の過程を経験をさせて頂きました。そのおかげで、2年目となる今年度はルーティンの中で計画通りに一連の過程を順調に進めていくことができました。そのおかげでグローバル奨学生を2名輩出させて頂き、年度のうちにロータリー財団からの承認を頂くことができました。2018-2019年度グローバル奨学生は6つの重点分野(平和と紛争予防/紛争解決・疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展)のいずれかに該当する専門分野の大学院への留学が条件になります。今年度のお2人は「イギリス・疾病予防と治療」、「スウェーデン・水と衛生」です。お2人とも優秀で大変熱意があり将来がとても楽しみな方で、「世界で良いことをしよう」を我々と一緒に叶えてくれると方たちであると確信しております。まもなく留学先へ出発することになりますが、出発後も現地ホストロータリークラブ、地区内ホストロータリークラブと協力しながらサポートして行きたいと思っております。

また、「財団学友会総会、奨学生壮行会」を財団学友会、地区学友委員会と共同にて同時に行うこともでき、初めての試みでしたが、出発学生の皆様に出発に向けた発表もして頂き、小山司ガバナーはじめ関係皆様に送り出して頂きました。この場をお借りしまして皆様に深く感謝申し上げます。今後も更に協力をしながら、財団奨学生についての御理解を深めて頂けるよう、また、財団学友会と財団奨学生の絆を深めていくよう尽力して行きたいと思っております。また、次年度は3年目で委員長としては最終の年度になりますが、財団奨学生の選考・輩出に加えて、プログラムの素晴らしさについても会員皆様に知って頂けるよう努力してまいりたいと思っております。1年間本当にありがとうございました。

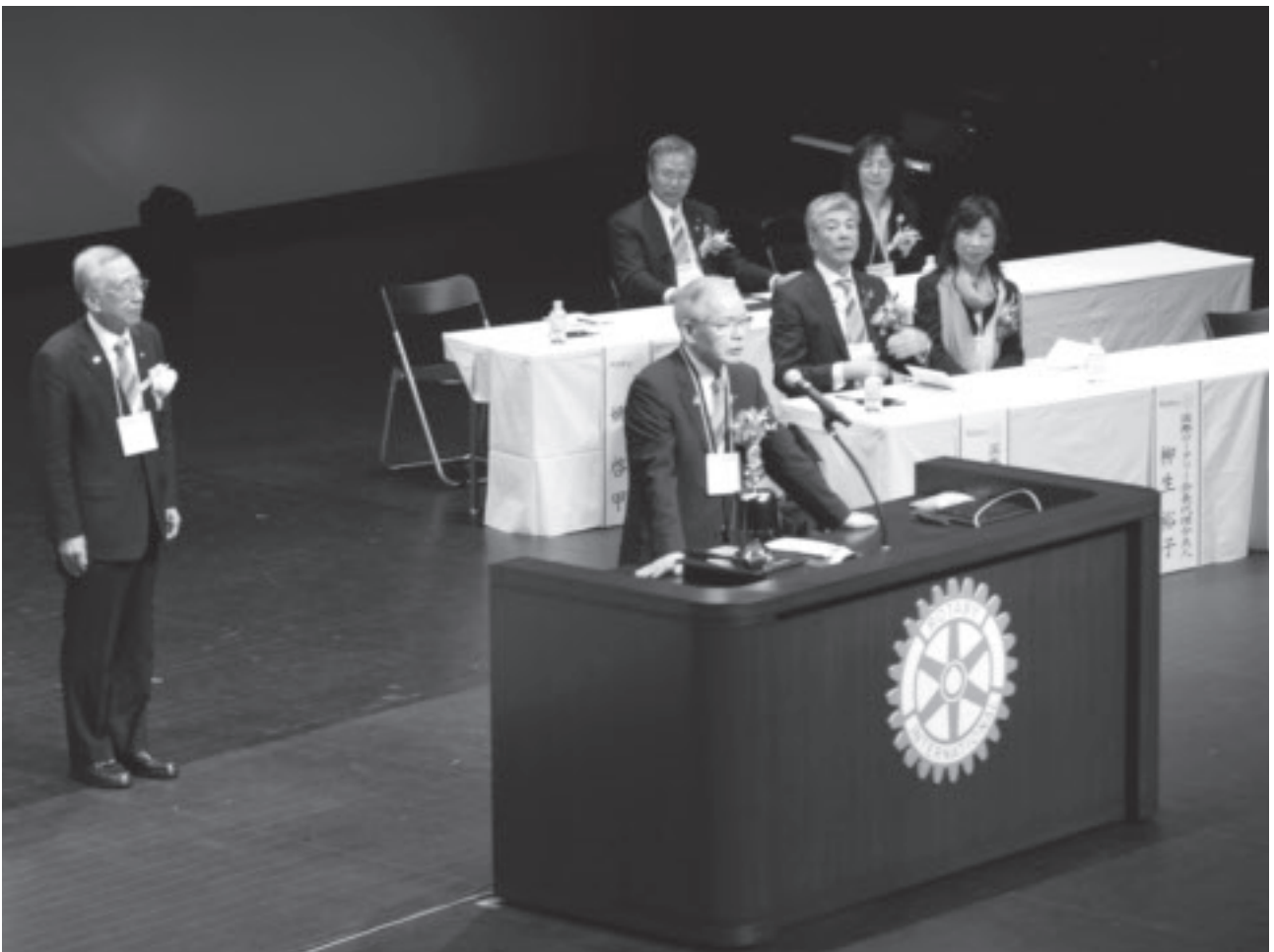


委員長
大石 清司
(新札幌RC)

米山記念奨学・学友委員会

昨年は3年間の委員長任期の終了の年でした。皆様の御支援で何とか終わられた事を感謝致します。一年目は実態把握、2年目は役割分担を含め委員会内チームワーク強化と具体的行動に一步踏み出す年、3年目は新たなチャレンジの年でした。最終年のこの一年は札幌南RC世話クラブ出身のイヨンエさんが全国3人の米山親善大使に就任で弾みがつきました。二か所のグループのIMで米山記念事業への報告がメインとなって開催され、本当に有り難い事でした。また日頃米山奨学生との関りが困難な遠隔地のクラブに年二回程度、米山奨学生を派遣するというサブ世話クラブ制度が発足しました。初年度という事で遅れをきたし奨学生の半数程度しか世話クラブに派遣できませんでしたが、派遣できたクラブでは歓迎されたと思います。一泊での米山奨学生の研修旅行が第一グループの御支援の下開催されました。カウンセラー研修も兼ねて行われ、深川RCの地域の歴史を学ぶ研修・夜は夜間例会で大カラオケ大会が開催され、地元ロータリアンの皆様・米山親善大使イヨンエさん・米山奨学生・カウンセラー・米山地区委員との交流も行われました。翌日の日曜は留萌RC・羽幌RCの方々に迎えて頂き、地元の名所・旧跡等を案内頂き有意義な研修旅行になりました、有り難う御座います。

最後に米山奨学生はロータリアンの寄付金で賄われております。当地区では昨年より更に寄付金が増えております。個人平均寄付額が昨年比24%アップで地区目標一人当たり16,000円に迫りつつあります。有難うございました。



新会員の紹介

(敬称略)



洞爺湖RC
古田 聡
5月20日入会
歯科医師



洞爺湖RC
下道 英明
5月20日入会
運輸



苫小牧RC
澤 正彦
6月21日入会
石油精製



札幌北RC
小田 昌博
6月24日入会
保険代理業



千歳RC
吉田 一也
6月20日入会
大工工事

【ガバナー事務所よりお願い】

ガバナー事務所ではこれまで殺風景であった事務所の雰囲気を一変し、事務所スタッフと訪問される方がよりリラックスした環境で執務することが出来ますように美術品の掲示を進めています。壁全体にピクチャーレールを設置しました。ゆくゆくは部屋をミニチュア美術館のようにしていきたいと思っています。会員の皆様の御自宅や職場に眠っている絵画やリトグラフ等がございましたらご寄贈いただけないでしょうか。大切に掲示させて頂きたいと思っております。御協力いただける会員の方は事務局まで御一報をお願いいたします。お待ちしております。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC	江本 勝典	会員	(6回)	6月14日	函館五稜郭RC	小林 大輔	会員	(2回)	6月27日
江別RC	山田 誠	会員	(1回)	6月19日	函館五稜郭RC	奥田 武彦	会員	(2回)	6月27日
札幌はまなすRC	北川 敏夫	会員	(2回)	6月13日	函館五稜郭RC	林 真彦	会員	(4回)	6月27日
札幌モーニングRC	若松 孝	会員	(1回)	6月28日	函館五稜郭RC	河村 隆平	会員	(7回)	6月27日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員	(3回)	6月28日					
札幌手稲RC	松田 純季	会員	(1回)	6月24日	米山功労クラブ				
札幌西北RC	渡邊 葉子	会員	(7回)	6月28日	岩見沢RC		(36回)	6月14日	
札幌幌南RC	羽部 大仁	会員	(13回)	6月27日	札幌はまなすRC		(7回)	6月13日	
静内RC	真下 明	会員	(1回)	6月 7日	札幌モーニングRC		(19回)	6月28日	
静内RC	増本 裕治	会員	(3回)	6月 7日	札幌西北RC		(18回)	6月28日	
函館RC	森川 順治	会員	(3回)	6月27日	新札幌RC		(18回)	6月28日	
函館五稜郭RC	太田 賢一	会員	(1回)	6月27日	静内RC		(10回)	6月 7日	
函館五稜郭RC	高島 優二	会員	(1回)	6月27日	函館RC		(5回)	6月10日	
函館五稜郭RC	清田 真人	会員	(1回)	6月27日	函館五稜郭RC		(29回)	6月27日	

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

札幌北RC 出村知佳子 (レベル2) 6月11日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌モーニングRC	広瀬 進	会員	(2回)	5月24日	函館RC	富田 恒一	会員	(5回)	6月18日
札幌モーニングRC	坂本 勝彦	会員	(2回)	5月24日	函館五稜郭RC	塚田 寛	会員	(1回)	6月28日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員	(2回)	5月24日	函館五稜郭RC	山田 信一	会員	(1回)	6月28日
小樽南RC	前川 勝美	会員	(1回)	5月29日	函館五稜郭RC	石尾 清広	会員	(2回)	6月28日
小樽南RC	湊 亨	会員	(1回)	5月29日	北斗RC	光銭 健三	会員	(3回)	6月24日
小樽南RC	佐藤 友美	会員	(1回)	5月29日					
小樽南RC	阿部 誠	会員	(2回)	5月29日	ポール・ハリス・フェロー				
小樽南RC	濱本 進	会員	(2回)	5月29日	栗山RC	北野 隆春	会員		5月 8日
小樽南RC	本間 彰	会員	(2回)	5月29日	札幌モーニングRC	内田 芳史	会員		5月24日
小樽南RC	紺谷 茂夫	会員	(2回)	5月29日	砂川RC	岩渕 健悦	会員		6月26日
小樽南RC	工藤左千夫	会員	(2回)	5月29日	江別RC	金田 一夫	会員		6月20日
小樽南RC	山村 弘一	会員	(2回)	5月29日	江別RC	佐々木光治	会員		6月20日
小樽南RC	大倉 俊一	会員	(3回)	5月29日	江別西RC	丸谷千代子	会員		6月20日
小樽南RC	福島 正紘	会員	(4回)	5月29日	岩内RC	岩城 直人	会員		6月14日
小樽南RC	新倉 吉晴	会員	(5回)	5月29日	小樽RC	稲垣 哲也	会員		6月 4日
小樽南RC	斎田 義孝	会員	(6回)	5月29日	小樽RC	野口 禮二	会員		6月 4日
滝川RC	渡邊 恭久	会員	(8回)	6月20日	静内RC	樋渡 裕二	会員		6月 6日
江別RC	奥野 一嘉	会員	(3回)	6月20日	室蘭RC	北川 浩一	会員		6月 7日
江別西RC	増山 柳	会員	(4回)	6月18日	室蘭RC	近江 毅	会員		6月 7日
岩見沢RC	江本 勝典	会員	(3回)	6月14日	函館五稜郭RC	太田 賢一	会員		6月28日
小樽RC	西條 文雪	会員	(3回)	6月 4日	函館五稜郭RC	和田 元春	会員		6月28日
えりもRC	山科 幸一	会員	(2回)	6月21日	函館東RC	新保 栄子	会員		6月20日
室蘭北RC	川本 康裕	会員	(4回)	6月27日	函館東RC	吉田恵美子	会員		6月20日
函館RC	竹田 公一	会員	(5回)	6月18日					

胆振東部地震義捐金報告

皆様のご協力に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

9月6日に北海道胆振東部を襲った地震に対する義捐金について、地区内各クラブに募金のお願いを致しましたところ、既に他の団体に義捐金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の地区内51クラブの他、他地区から、更には海外からもご支援をいただき、合計で38,598,329円を頂戴致しました。ガバナー月信の2月号・3月号にも掲載致しましたように被災地の災害支援に役立てております。今後も続報が入り次第、随時報告してまいります。

深川 RC	札幌手稲 RC	室蘭東 R
羽幌 RC	札幌東 RC	室蘭北 RC
妹背牛 RC	札幌幌南 RC	登別 RC
留萌 RC	札幌真駒内 RC	洞爺湖 RC
赤平 RC	札幌南 RC	函館 RC
芦別 RC	札幌大通公園 RC	函館亀田 RC
砂川 RC	新札幌 RC	七飯 RC
滝川 RC	岩内 RC	長万部 RC
美唄 RC	倶知安 RC	函館セントラル RC
岩見沢 RC	小樽 RC	函館五稜郭 RC
岩見沢東 RC	小樽南 RC	函館東 RC
栗沢 RC	余市 RC	函館北 RC
栗山 RC	千歳 RC	北斗 RC
当別 RC	恵庭 RC	白老 RC
札幌 RC	三石 RC	苫小牧北 RC
札幌はまなす RC	静内 RC	
札幌北 RC	伊達 RC	
札幌モーニング RC	室蘭 RC	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.5.31	増減	内女性	
1	深 川	3	33	32	-1	1	92.47
	羽 幌	3	46	45	-1	2	97.04
	妹背牛	2	7	7	0	0	71.42
	留 萌	4	33	34	1	3	75.00
	小 計		119	118	-1	6	83.98
2	赤 平	3	27	27	0	2	64.70
	芦 別	3	31	30	-1	2	69.37
	砂 川	4	40	41	1	1	93.50
	滝 川	4	93	96	3	4	63.00
	小 計		191	194	3	9	72.64
3	美 唄	3	26	27	1	0	86.67
	江 別	4	32	34	2	1	80.90
	江 別 西	3	30	32	2	4	82.20
	岩 見 沢	4	74	87	13	0	89.69
	岩見沢東	3	17	17	0	2	77.08
	栗 沢	3	19	18	-1	1	98.00
	栗 山	3	25	27	2	5	84.61
	当 別	3	27	29	2	0	75.00
	小 計		250	271	21	13	84.27
4	札 幌	3	121	126	5	2	99.72
	札幌はまなす	3	16	18	2	2	74.00
	札 幌 北	3	40	44	4	5	79.71
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	74.76
	札 幌 西	3	50	50	0	9	81.78
	札幌西北	4	34	33	-1	3	86.00
	札幌手稲	3	37	41	4	5	80.12
	小 計		332	346	14	26	82.30
5	札 幌 東	4	125	121	-4	0	96.53
	札幌清田	3	13	13	0	4	94.86
	札幌幌南	4	66	56	-10	3	95.70
	札幌真駒内	4	23	24	1	6	100.00
	札 幌 南	3	88	93	5	2	98.81
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	57.14
	札幌ライラック	2		20		6	70.50
	新 札 幌	4	25	29	4	5	90.86
小 計		354	370	16	30	88.05	
6	岩 内	3	20	20	0	1	91.00
	倶 知 安	3	36	34	-2	3	69.50
	小 樽	4	71	75	4	5	87.88
	小 樽 南	4	65	66	1	4	76.50
	小樽銭函	4	22	24	2	1	86.00
	蘭 越	3	9	9	0	0	85.00
	余 市	4	43	42	-1	5	82.85
	小 計		266	270	4	19	82.68

5月
増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,544人
当月末会員数(女性)	2,638人(175人)
増加会員数	94人
当月平均出席率	81.64%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.5.31	増減	内女性	
7	千 歳	2	69	77	8	9	81.10
	千歳セントラル	4	39	43	4	9	69.77
	恵 庭	4	49	52	3	3	77.67
	北 広 島	4	16	16	0	0	84.44
	長 沼	4	17	16	-1	3	83.33
	由 仁	2	7	8	1	1	100.00
	小 計		197	212	15	25	82.72
8	え り も	2	17	21	4	1	100.00
	三 石	4	13	12	-1	0	76.60
	様 似	3	17	17	0	1	73.53
	静 内	4	72	70	-2	4	84.50
	浦 河	4	26	28	2	3	92.86
	小 計		145	148	3	9	85.50
	9	伊 達	4	64	64	0	1
室 蘭		4	32	32	0	2	73.21
室 蘭 東		3	34	38	4	3	65.20
室 蘭 北		4	46	49	3	3	71.36
登 別		4	25	25	0	1	76.00
洞 爺 湖		2	9	11	2	0	100.00
小 計			210	219	9	10	76.92
10	函 館	4	76	81	5	1	79.99
	函館亀田	4	43	42	-1	4	73.98
	森	3	35	34	-1	0	70.60
	七 飯	4	12	12	0	0	77.08
	長 万 部	2	10	11	1	0	63.60
	函館セントラル	4	23	26	3	2	76.93
	小 計		199	206	7	7	73.70
11	江 差	2	10	10	0	1	90.00
	函館五稜郭	4	54	55	1	0	81.82
	函 館 東	4	45	43	-2	8	76.98
	函 館 北	3	16	19	3	0	83.92
	北 斗	3	12	12	0	0	52.00
小 計		137	139	2	9	76.94	
12	白 老	4	30	30	0	3	74.50
	苦小牧	4	59	61	2	3	83.34
	苦小牧東	4	27	26	-1	4	87.50
	苦小牧北	4	28	28	0	2	97.22
	小 計		144	145	1	12	89.64
合 計		2,544	2,638	94	175	81.64	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員0名)を含む

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.6.30	増減	内女性	
1	深 川	3	33	31	-2	1	86.12
	羽 幌	3	46	45	-1	2	69.63
	妹背牛	3	7	6	-1	0	83.51
	留 萌	3	33	35	2	3	75.24
	小 計		119	117	-2	6	78.63
2	赤 平	4	27	25	-2	2	76.09
	芦 別	3	31	30	-1	2	61.91
	砂 川	2	40	41	1	1	93.50
	滝 川	2	93	93	0	4	75.00
	小 計		191	189	-2	9	76.63
3	美 唄	4	26	26	0	0	91.22
	江 別	3	32	34	2	1	88.89
	江 別 西	4	30	32	2	4	88.20
	岩 見 沢	4	74	87	13	0	91.27
	岩見沢東	3	17	17	0	2	81.30
	栗 沢	4	19	18	-1	1	95.60
	栗 山	3	25	27	2	5	87.17
	当 別	4	27	29	2	0	86.60
	小 計		250	270	20	13	88.78
4	札 幌	4	121	127	6	2	98.57
	札幌はまなす	4	16	17	1	2	71.00
	札 幌 北	4	40	45	5	5	77.85
	札幌モーニング	3	34	31	-3	0	76.54
	札 幌 西	4	50	50	0	9	74.38
	札幌西北	4	34	33	-1	3	77.40
	札幌手稲	4	37	40	3	5	81.18
	小 計		332	343	11	26	79.56
5	札 幌 東	3	125	121	-4	0	96.74
	札幌清田	4	13	12	-1	3	98.07
	札幌幌南	4	66	57	-9	3	95.60
	札幌真駒内	3	23	25	2	6	100.00
	札 幌 南	4	88	91	3	2	98.29
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	78.56
	札幌ライラック	2		19		6	71.00
	新 札 幌	4	25	29	4	5	89.05
小 計		354	368	14	29	90.91	
6	岩 内	4	20	20	0	1	92.50
	倶 知 安	4	36	34	-2	3	75.30
	小 樽	4	71	74	3	5	83.28
	小 樽 南	4	65	66	1	4	81.80
	小樽銭函	3	22	24	2	1	82.00
	蘭 越	4	9	9	0	0	100.00
	余 市	4	43	40	-3	4	79.62
	小 計		266	267	1	18	84.93

会
員
増
減
数
・
6
月
出
席
率

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,544人
当月末会員数(女性)	2,592人(172人)
増加会員数	48人
当月平均出席率	82.26%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.6.30	増減	内女性	
7	千 歳	3	69	74	5	9	81.50
	千歳セントラル	4	39	42	3	9	75.58
	恵 庭	4	49	52	3	3	81.77
	北 広 島	4	16	15	-1	0	86.67
	長 沼	3	17	16	-1	3	74.58
	由 仁	2	7	8	1	1	68.80
	小 計		197	207	10	25	78.15
8	え り も	2	17	21	4	1	100.00
	三 石	4	13	12	-1	0	80.00
	様 似	4	17	17	0	1	72.79
	静 内	4	72	69	-3	4	84.00
	浦 河	3	26	27	1	3	82.14
	小 計		145	146	1	9	83.79
	9	伊 達	4	64	63	-1	1
室 蘭		4	32	28	-4	2	72.20
室 蘭 東		5	34	35	1	3	84.20
室 蘭 北		4	46	47	1	2	74.85
登 別		4	25	25	0	1	76.00
洞 爺 湖		2	9	11	2	0	100.00
小 計			210	209	-1	9	81.51
10	函 館	4	76	76	0	1	79.12
	函館亀田	2	43	37	-6	4	87.81
	森	3	35	34	-1	0	74.00
	七 飯	4	12	12	0	0	87.50
	長 万 部	2	10	11	1	0	50.00
	函館セントラル	4	23	26	3	2	83.66
	小 計		199	196	-3	7	77.02
11	江 差	2	10	10	0	1	65.00
	函館五稜郭	4	54	54	0	0	80.25
	函 館 東	4	45	42	-3	8	79.27
	函 館 北	4	16	19	3	0	85.01
	北 斗	4	12	12	0	0	58.00
	小 計		137	137	0	9	73.51
12	白 老	3	30	28	-2	3	80.30
	苦小牧	4	59	60	1	3	81.67
	苦小牧東	4	27	27	0	4	84.62
	苦小牧北	4	28	28	0	2	95.23
	小 計		144	143	-1	12	89.64
合 計		2,544	2,592	48	172	82.26	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員0名)を含む



表紙写真

小山ガバナーと札幌RC会員を中心とした2018-19年度
ガバナー事務所スタッフ。

《ガバナー事務所よりお詫びと訂正》

ガバナー月信 6月号 1ページ目の小山司ガバナーのコラム「今後のロータリーに期待すること
その6（最終回）」のサブタイトルに誤りがありました。

「青少年奉仕月間にあたって」とありますが、正しくは「ロータリー親睦活動月間にあたって」です。
訂正いたします。

校正にミスがございましたことに対しまして小山ガバナーおよび会員の皆様に心からお詫び申し上げます。

